

続 北のクルマ物語

五番館の歴史 その8

北海道の自動車販売の先駆けになった五番館

作：石川寿彦

札幌トヨタのルーツは五番館の自動車部である。1921(大正10)年である。それから100年以上が過ぎ、北海道自動車販売のトップを走る自動車販売会社の雄になった。その間、多くの経営者の努力が現在の飛躍に繋がった。その歴史を短いながらもどつてきたが札幌トヨタが今後どのような展開をするのか温かく見守りたい。

札幌トヨタの生みの母として
さらに北海道経済の発展に
貢献した経営者として
大きな足跡を残す



2003(平成15)年5月
大沢博前取締役社長退去
享年74歳



2002(平成14)年6月
相澤正一取締役名譽会長に



時代の移り変わりと
共に会社は変わって
発展してきた。
多岐にわたる
事業展開のなかで
「トヨタ」の
イメージを

「トヨタ」イメージを
北海道に広げようとの
思いで、トヨタの
販売網に力を入れ、
会社の発展、好成績
を挙げた。トヨタが
グループ入りするまで

※ 連載終了後、「続・まんが 北のクルマ100年物語」(仮)として刊行予定!